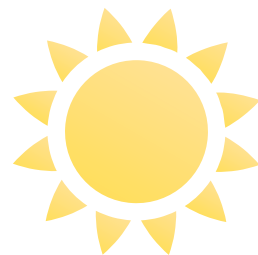


第17回 環境コミュニケーション大賞



# 表彰式



日時: 2014年3月17日(月)  
14:00-15:30

会場: 品川プリンスホテル  
(東京都港区高輪4-10-30)

主催: 環境省、一般財団法人 地球・人間環境フォーラム

協賛: 一般社団法人 サステナビリティ情報審査協会

協力: 一般財団法人 持続性推進機構、日本公認会計士協会、

後援: 公益財団法人 地球環境戦略研究機関、一般社団法人 日本経済団体連合会、日経エコロジー

# 第 17 回 環境コミュニケーション大賞

## 表彰式

### INDEX

INDEX	… P. 1
1. プログラム	… P. 2
2. 開催趣旨	… P. 3
3. 受賞一覧	
環境報告書部門	… P. 5
環境活動レポート部門	… P. 6
テレビ環境 CM 部門	… P. 6
4. 受賞作品講評	
環境報告書部門	… P. 7
環境活動レポート部門	… P.13
テレビ環境 CM 部門	… P.16
5. 一次選考通過作品	
環境報告書部門	… P.17
環境活動レポート部門	… P.18
(テレビ環境 CM 部門は一次選考なし)	
6. 審査委員	… P.19
7. 応募団体一覧	
環境報告書部門	… P.21
環境活動レポート部門	… P.24
テレビ環境 CM 部門	… P.25

# 1.プログラム

13:20	開場	
14:00	開会	
	開会挨拶	環境大臣政務官 牧原 秀樹（予定）
	表彰状授与	環境大臣賞 全部門
		その他各賞 環境報告書部門
		環境活動レポート部門
		テレビ環境 CM 部門
	受賞者代表挨拶	環境報告書部門 環境報告大賞 (株)滋賀銀行 取締役頭取 大道 良夫様
	受賞作品上映	テレビ環境 CM 部門
	審査委員長講評	東京大学名誉教授 山本 良一
15:30 頃	閉会	

## 2.開催趣旨

「環境コミュニケーション大賞」は、優れた環境報告書等や環境活動レポート、及びテレビ環境 CM を表彰することにより、事業者等の環境経営及び環境コミュニケーションへの取組を促進するとともに、環境情報開示の質の向上を図ることを目的とする表彰制度であり、今年で 17 回目を迎えます。

表彰部門は、CSR（企業の社会的責任：Corporate Social Responsibility）報告書や持続可能性報告書なども含む環境報告書等を対象とする「環境報告書部門」、エコアクション 21 に基づく環境活動レポートを対象とする「環境活動レポート部門」、テレビ放送で放映された環境コマーシャルを対象とする「テレビ環境 CM 部門」の 3 部門です。

環境報告書は、事業活動に伴う環境負荷や環境配慮の状況をステークホルダーに説明するものです。環境配慮経営を効果的に実践するためには、社会からの要請や事業との関連を中長期的な視点で見ていくことが重要です。環境報告書により、事業者が環境配慮経営の考え方や取組を分かりやすくステークホルダーに伝えることで、ステークホルダーからの要請や期待を経営にフィードバックしていくことが可能となります。

本大賞が、事業者等とステークホルダーの良好なコミュニケーションの実現を加速させ、もって環境と経済の好循環に貢献することを願っています。

### ■ 表彰の実施にあたって

今回の環境コミュニケーション大賞は、2013 年 10 月 11 日から 2013 年 11 月 15 日にかけて募集を行い、環境報告書部門 182 点、環境活動レポート部門 65 点、テレビ環境 CM 部門 27 点の、あわせて 274 点の応募がありました。審査の結果、以下の賞がそれぞれ決定しました。

環境報告書部門 17 点	環境報告大賞	(環境大臣賞)	1 点
	持続可能性報告大賞	(環境大臣賞)	1 点
	地球温暖化対策報告大賞	(環境大臣賞)	1 点
	優秀賞	(地球・人間環境フォーラム理事長賞)	7 点
	生物多様性報告特別優秀賞	(地球・人間環境フォーラム理事長賞)	該当無し
	信頼性報告特別優秀賞	(サステナビリティ情報審査協会会長賞)	1 点
	環境配慮促進法特定事業者賞 奨励賞		2 点 4 点
環境活動レポート部門 11 点	大賞	(環境大臣賞)	1 点
	優秀賞	(地球・人間環境フォーラム理事長賞)	5 点
	奨励賞		5 点
テレビ環境 CM 部門 4 点	大賞	(環境大臣賞)	1 点
	優秀賞	(地球・人間環境フォーラム理事長賞)	3 点

## 【環境報告書部門】について

環境報告書部門では、環境報告書部門ワーキンググループ委員会による一次選考、審査委員会による二次選考を経て、受賞作を決定いたしました。

「特別優秀賞」は、優秀賞のうち「生物多様性」「信頼性」に関する記述に優れた報告書に表彰するものです。また「奨励賞」は、規模の大きくない事業者やサイト単位の環境報告書や取り組みを始めてまもない事業者の報告書であって、工夫や努力が認められるものに加え、上記の大賞・優秀賞には選ばれなかったものの、環境配慮経営を意欲的に取り組んでいる事業者の報告書や、分かりやすい情報の開示がなされている報告書、先進的な取り組みや開示を進めている事業者の報告書、他の模範としてふさわしい情報の開示を進めている報告書に表彰するものです。

また、次世代とのコミュニケーションを図る場として、「環境配慮経営の評価チェックシート」を任意で提出いただきました。こちらにも多くの事業者より参加して頂き、環境コミュニケーションのさらなる発展が期待されます。

「環境配慮経営の評価チェックシート」のレビューにご協力頂いた大学のゼミは以下の通りです。

上智大学 経済学部 上妻教授ゼミ

法政大学 人間環境学部 長谷川教授ゼミ

中央大学 経済学部 丸山教授ゼミ

明治大学 経営学部 千葉教授ゼミ

中央大学 法学部 ヘッセ教授ゼミ

横浜国立大学 経営学部 八木教授ゼミ

## 【環境活動レポート部門】について

環境活動レポート部門では、環境報告書部門と同様に、環境活動レポート部門ワーキンググループ委員会による一次選考、審査委員会による二次選考を経て、受賞作を決定いたしました。「大賞」「優秀賞」に加え、取り組みを始めてまもない事業者のレポートであって、工夫や努力の認められるものに加え、優れた環境経営の取組を実践している事業者の環境活動レポートに対しても「奨励賞」として表彰します。

## 【テレビ環境CM部門】について

テレビ環境CM部門については、個別に別途の専門家等による審査委員会を設けて審査を行い、「大賞」「優秀賞」を決定いたしました。

### 3.受賞一覧

#### 環境報告書部門

環境報告大賞	(環境大臣賞)	1点
株式会社滋賀銀行	CSRレポート2013 歩みを、共に。	
持続可能性報告大賞	(環境大臣賞)	1点
清水建設株式会社	2013シミズCSR報告書 第19号	
地球温暖化対策報告大賞	(環境大臣賞)	1点
キリンホールディングス株式会社	キリングroup環境報告書2013	
優秀賞	(地球・人間環境フォーラム理事長賞)	7点
NKSJホールディングス株式会社	CSRコミュニケーションレポート2013	
味の素株式会社	「味の素グループ サステナビリティレポート2013」(フルレポート)	
積水ハウス株式会社	Sustainability Report 2013	
東京都水道局	東京都水道局環境報告書2013、東京都水道局環境報告書2013 概要版 東京都水道局環境報告書2013 英語概要版	
株式会社東芝	東芝グループ環境レポート2013	
株式会社日立製作所	日立グループ サステナビリティレポート2013(ダイジェスト・詳細版)	
前田建設工業株式会社	CSR 報告書2013「未来をつくる意欲」	
生物多様性報告特別優秀賞	(地球・人間環境フォーラム理事長賞)	
※ 該当無し		
信頼性報告特別優秀賞	(サステナビリティ情報審査協会会長賞)	1点
帝人株式会社	2013年 帝人グループ CSR 報告書	
環境配慮促進法特定事業者賞		2点
国立大学法人熊本大学	えこあくと2013(熊本大学環境報告書)	
国立大学法人三重大学	世界一の「環境先進大学」の社会的責任(USR)を果たすために 三重大学環境報告書2013	
奨励賞		4点
JFEプラリソース株式会社	CSR・環境報告書2013	
シャープ株式会社亀山工場	シャープ亀山工場 環境取り組みのご紹介 CSR REPORT 2013	
株式会社リヴァックス	CSR 報告書2013	
ルネサス山形セミコンダクタ株式会社	ルネサス山形セミコンダクタ 環境報告書2013	

## 環境活動レポート部門

大賞	(環境大臣賞)	1点
株式会社北陽商会	環境活動レポート《9号》	
優秀賞	(地球・人間環境フォーラム理事長賞)	5点
上島珈琲貿易株式会社	上島珈琲貿易株式会社 2013年度 環境活動レポート	
恵比寿産業株式会社	環境活動レポート平成24年版「自然と命をつなげよう」	
東洋冷蔵株式会社	環境レポート 2013	
廣間組有限会社	環境活動レポート ～環境への恩返し～	
宮田村役場	エコアクション21 環境活動レポート2012 宮田村 ～この美しい自然をいつまでも～	
奨励賞		2点
有限会社三立	2012年度環境活動レポート	
国立大学法人鳴門教育大学	エコアクション21 環境活動レポート	
※環境活動レポートの受賞作品は、エコアクション21 中央事務局のホームページからダウンロードできます。 <a href="http://www.ea21.jp/list/ninsho_list.php">http://www.ea21.jp/list/ninsho_list.php</a>		
奨励賞(優良取組)		3点
株式会社シュガーアンドスパイス		
西東京市役所		
プラマック株式会社		

## テレビ環境CM部門

大賞	(環境大臣賞)	1点
ソニー株式会社	「Water Rock」編	
優秀賞	(地球・人間環境フォーラム理事長賞)	3点
サントリーホールディングス株式会社	サントリー「天然水の森プロジェクト」(土づくり)編	
株式会社滋賀銀行	「ニコロブナ・ワタカ放流」編	
野村ホールディングス株式会社	「ハッピーマネーサイクル 野村×トマト」編	

# 4.受賞作品講評

## 環境報告書部門

### 環境報告大賞（環境大臣賞）

株式会社滋賀銀行

CSRレポート2013 歩みを、共に。

持続可能な社会構築には環境金融、すなわち産業の米といわれる金融での環境投融資が極めて大きな役割を担っている。

日本ではこれが未だ発展途上にあるが、滋賀銀行は環境配慮型商品の開発・提供に金融業界の中でもいち早く取り組んだ会社である。

「歩みを、共に」というテーマで持続可能な社会の実現に向けて地域の皆さまと共に歩んで行きたいということ掲げ、その取り組みを減速させることなく地道に継続していることが本報告書から伝わってくる。自らのオフィス活動の改善による環境負荷低減、金融商品やエコビジネスマッチングフェアの開催を通じた社会の環境負荷低減への貢献・支援、環境にかかわる社会貢献活動など事業活動の各側面に環境配慮が取りこまれ、それぞれが継続されていることが読み取れる。

簡潔かつ重要なポイントを押さえた環境報告である。



トップメッセージ

「これまでも、  
これからも。」

滋賀銀行は2013年10月1日、おかげさまで創立80周年を迎えさせていただきました。皆さまの長年にわたるご愛顧に心より感謝申し上げます。  
当行は地域社会への更なる貢献を目標に、「[For the Future with You]～お客さまと地域の持続可能な成長のために～」をテーマとする「第5次長期経営計画」を今年度よりスタートさせました。「[For the Future]」には、現状を打破し、明るい未来を切り拓く「未来志向」、そして「[with You]」には、お客さま、地域社会、当行グループ従業員、更には地球環境との「共存共栄」を図り、「持続可能な社会」の実現を、との切なる願いを込めております。

当行は、経営に環境を融合させた「環境経営」を展開し、「お金の流れで地球環境を守る」との気風をもって「環境対応型金融商品・サービスの開発・提供に努めるとともに、お客さまと手を携えて低炭素社会づくりなど「持続可能な社会」の実現を目指しております。

環境問題は、いまや「待ったなし」の状況にあります。【今ならまだ間に合う】との健全な危機意識に立ち、さまざまな活動に取り組んでいます。そして、「地域の成長なくして、当行の成長なし」との当行普遍の信念のもと、「創立80周年」を機に「これまでも、これからも。」との精神で、「環境」「福祉」「文化」を3本柱とした活動を一層充実させ展開してまいりたい所存です。

さて、当行「CSRレポート2013 歩みを、共に。」では、当行のCSR活動の「この1年間」を中心に進捗状況をまとめ、発行いたしました。皆さまにご一読賜りますとともに、忌憚のないご意見、ご提案を賜りますれば幸甚でございます。

今後とも、当行のCSR活動に対しまして、一層のご支援をお願い申し上げます。

2013年10月

取締役会長 大道 良夫

#### しがぎんのデータ

名称 株式会社 滋賀銀行  
THE SHIGA BANK LTD.  
滋賀県大津市浜町1番38号  
設立 1933年10月1日  
総資産 4,616,405億円  
預金 残高 4,411,945億円(保険料控除後)  
貸付総残高 2,626,224億円  
資本金 330億円  
従業員 2,280人  
店舗数 138店舗(うち支店89店舗)

#### 編集方針

●本報告書は、2001年より環境レポートを毎年発行し、2004年にCSRレポートに改題、今年が13回目となります。  
●本報告書は、銀行が「グリーンバンク」の各社として果たすべきCSRに関する方針や活動を報告するものです。  
●活動の報告にあたっては、「[CSR]」(環境・社会・文化)の3つの視点(「地域社会」と「社会」)を軸とし、その具体的な活動については、「ディスクロージャー2013」またはホームページをご覧ください。  
●本報告書のホームページ、本報告書のPDFファイル及び関連情報を掲載しております。(http://www.shigagin.com)

#### 報告対象期間

2012年度(2012年4月1日から2013年3月31日)を主な報告対象とし、一部は、2012年度の活動(2013年7月までの最新情報)を盛り込んでいます。

#### 報告対象組織

本行の本店(大津)と支店(滋賀県内)と関連会社(しがぎんビジネスサービス)しがぎん代客店(しがぎんキャシュサービス)しがぎん環境文化センター(滋賀県)しがぎんカード(しがぎんカード)しがぎんリース・サービス(しがぎんリース)しがぎんリース(しがぎんリース)となります。

次回の報告書発行予定：2014年9月(予定)

#### CONTENTS

トップメッセージ  
ステークホルダー・ダイアログ 2  
しがぎんのCSR 6

**地球環境との共存共栄**

環境経営 7  
「グリーンバンクしがぎん」を目指して 9  
地球温暖化防止活動 9  
エコオフィスづくり 10  
お金の流れで地球環境を守る 12  
環境会計 19  
環境コミュニケーション 20  
生物多様性保全に向けた取り組み 22

**役員との共存共栄**

一人ひとりが力を発揮できる職場づくり 26

**地域社会との共存共栄**

お客さま満足度の向上を目指して 30  
社会貢献活動の取り組み 32  
スポーツを通じた地域貢献 33  
文化の取り組み 34

自己責任経営の実践 35  
事業継続に向けた取り組み 36  
しがぎんCSR HISTORY 37

この報告書はPDFファイルにて提供いたします。  
http://www.shigagin.com





バリュー・チェーン・マネジメント と社会性側面の取り組み内容が優れて具体的であり、充実しようとしていることが読み取れる。また、記述も読みやすい。

同社のCSR3本柱を構成する各取り組みについて、国連グローバル・コンパクトの原則とISO26000の中核項目を横軸にした参照ページ付きの対照表を掲げており、取り組みのチェックと同時に読者に分かり易い説明となっている。

さらに、例えば再生可能エネルギーについて、ゼネコンの立場でメガソーラー・プロジェクトの全国展開や浮体式洋上風力発電の実用化をアピールする一方で、新エネルギーの自社導入のデータも開示しているなど、今後の着実な進展が期待できる。

冒頭の特集記事をのぞくと、狭義の地球環境への貢献と取り組み実績は本編では実質6ページに凝縮されているが、環境会計を含む別冊データ集の発行やウェブサイト上のEMS関連アドレスを明記するなどの工夫がなされ、総じて「豊かで持続可能な社会の実現」に向けたCSR報告書の編集方針が的確に貫かれている。



豊かで持続可能な社会の実現に向けて

豊かで持続可能な社会の実現に向けて

**編集方針**  
本報告書は、ステークホルダーの皆様への情報開示とコミュニケーションのツールとして、清水建設株式会社のCSRの取り組みを報告するものです。  
[特集]と[ACTIVITIES:CSRの取り組みの実態事項と評価]の2部構成となっています。[特集]は「ひらく・ひろげる」というテーマで組みました。[ACTIVITIES]は、ISO26000(社会的責任に関する手引)の7つの中核主題をベースに、さまざまな社会的課題から当社の取り組みを捉えべき活動項目を決定しています。2012年度の実績と2013年度の取り組み方針が規定する「実態事項と評価」を一覧表に、詳細は各項目で報告しています。また、2013年3月からの国連が提唱するグローバル・コンパクトに署名・参加したことを受け、一覧表(P16)にも反映しました。  
版面の都合上掲載できなかった内容や実績データなどについては、本報告書の内容とともに当社ホームページ(<http://www.shimzu.co.jp/csr/environment/report/report2013.html>)に掲載しております。

目指す姿	CSR活動の基盤	社会的課題	2020年の目標
人々が快適に安心して暮らせる環境づくりの「トランジション」として、社会とともに成長を続ける企業	公正で透明な事業活動のために	企業統治 法令遵守 公正な取引 情報セキュリティ	・グループ企業を含めたコーポレートガバナンス(企業統治)体制の確かな運用と、経営のあらゆるプロセスにおけるリスク管理の徹底 ・反社会的行動の根絶をはじめとするグループ全体での企業倫理の徹底 ・取引の透明性をさらに向上させ、専門工事業業の信頼関係を構築 ・全てのグループ企業、専門工事業業を含めた情報セキュリティの徹底 ・事業に基づいた正確な情報を適切な方法で十分に開示し、経営の透明性を実現
	社会やお客様の期待を超える価値の実現のために	安全・安心 環境化 環境汚染 生物多様性	・非常時の事業継続機能を考慮した上での、平常時の節電・省エネ対策と施設・コミュニケーションの実現 ・全ての建造物で社会やお客様の期待を超える価値を実現 ・社会の新たな課題に対するソリューションを、持続的経済革新で実現 ・ゼロカーボン化の実現 ・エコリーディングでCO2を1990年比30%削減 ・生物多様性に寄与する事業活動の構築
	社会との共生のために	人材育成 人材の多様化 少子高齢化 労働環境	・従業員と専門工事業業の多様な人材が豊かさを享受できる環境の実現 ・専門工事業業との連携による震災災害ゼロの達成と若年労働者の技術向上の実現 ・自然災害に対する地域社会や経済活動の継続・早期復旧の支援 ・地域やステークホルダーと連携した社会貢献活動の充実

**基本的要件**  
本報告書に記載している内容の基本的要件は、以下の通りです。  
■報告対象組織  
本社および国内持分株式会社グループ企業を対象としています。ただし、[ACTIVITIES]の実態事項や[情報セキュリティ]については、本社および国内の支店での活動を対象としています。  
■活動報告の期間  
2012年度(2012年4月~2013年3月)の活動を中心に、一部前後の活動を合わせて記載しています。  
■記載発行予定：2014年6月

**企業情報の開示**  
企業情報、各種報告書やホームページ(<http://www.shimzu.co.jp/>)にて公開しています。  
■CSR報告書：社会の期待(一電の方、実績) 経営の期待(一電の方、実績) (CSR動) <http://www.shimzu.co.jp/csr/>  
■環境報告書、有価証券報告書、アニュアルレポート 社会の期待(一電の方、実績) 経営の期待(一電の方、実績) (株主・投資家情報) <http://www.shimzu.co.jp/ir/>

**KPIの設定**  
CSR活動の中から、「多様なステークホルダーにとつての価値の向上に寄与する成果指標」、「当社の成長にとって重要な成果指標」という2つの観点で精査し、採択の可否を決定しました。具体的な数値目標はP16表で参照下さい。  
■KPI(Key Performance Indicators)は、経営上の重要課題への取り組み状況や、顕著な事業活動の経過などを効果的に計測可能な指標をいいます。

**目次**

トップメッセージ.....	2
豊かで持続可能な社会の実現に向けて.....	4
シミズとステークホルダーとの関係.....	6
CSRの基本的な考え方.....	6
国連グローバル・コンパクトへの参加.....	6
事業内容と財務状況.....	7
■特集「ひらく・ひろげる」.....	8
01) 10万人ゼロカーボン導線トンネル 発展する都市の未来をひらく.....	8
02) 中惑天す ecoBCPが実現するスマートエコビル(仮) 現実化に環境配慮がむかふ.....	12
03) 13川川市子ども未来センター 自立したコミュニティ拠点をひらく.....	14

活動項目	■ACTIVITIES:CSRの取り組みの実態事項と評価
企業統治	公正で透明な事業活動のために..... 19 事業環境の整備..... 20 法令遵守・企業倫理..... 22 公正で透明な取引(附録A)・企業情報の発信..... 23
公正な事業慣行	
企業情報の開示	
安全・安心	社会やお客様の期待を超える価値の実現のために..... 25 安全・安心・地震や津波から人と都市を守る..... 26 最優秀の採用..... 28 地球環境への貢献..... 32 生物多様性への取り組み..... 33 地球温暖化防止、エコロジー・ミジック..... 34 新設建築物の健康と、省資源化..... 36 環境コミュニケーション..... 37
最優秀品質の提供	
地球環境への貢献	
人権への配慮	社会との共生のために..... 39 人権大切に企業の実現..... 41 安全衛生への取り組み..... 44 社会とのコミュニケーション・社会貢献活動..... 46
労働環境の向上	
社会貢献活動	

CSR報告書を読み、ステークホルダーの方々のご意見..... 48  
ステークホルダー・ダイアログを掲載して..... 49  
ステークホルダー・ダイアログ実施状況..... 49  
2012年度 社会貢献受賞一覧..... 50  
第三者保証報告書..... 51  
編集後記..... 51

環境会計はホームページ  
[http://www.shimzu.co.jp/csr/environment/report/pdf/data\\_2013.pdf](http://www.shimzu.co.jp/csr/environment/report/pdf/data_2013.pdf)  
報告書データに掲載しています。

# 地球温暖化対策報告大賞（環境大臣賞）

キリンホールディングス株式会社

キリングroup環境報告書2013

2050年を見据えた明確な長期ビジョンを掲げており、取り組む領域を水資源、生物資源、容器包装、地球温暖化の4つに絞り込んでおり、「環境戦略」の実践が読者に良く伝わる報告書である。

長期環境ビジョンは、「バリューチェーンから生ずる環境負荷を地球が賄うことができる能力とバランスさせる『資源循環100パーセント社会の実現』と明確に定め、関係づけて設定しており、解決のためにNGO、企業との連携を重視する等実現のための方策を真摯に考えていることがよく分かる。

地球温暖化への対応については、バリューチェーンでのCO<sub>2</sub>排出量を半減することを掲げ、その実現のため、製造、物流、オフィス、販売の各場面における具体的施策に踏み込んで記載しており、第三者保証の導入等、数値の客観性にも配慮しており、高く評価できる。



キリングroup環境報告書2013

### 地球温暖化への対応

**2050年までに、事業のバリューチェーンでのCO<sub>2</sub>排出量を地球の吸収可能な範囲に抑えます。**

**現状** キリングgroupの商品・事業を取り巻く全てのステークホルダーと協力し、バリューチェーンのCO<sub>2</sub>排出量を削減します。

**アプローチ** 自社の直接的なCO<sub>2</sub>排出量を削減するとともに、生物資源、水資源、容器包装での取り組みを推進させ、バリューチェーン全体でのCO<sub>2</sub>排出量を削減します。

#### 低炭素企業グループ・アクションプラン

2009年8月に地球温暖化防止のための戦略を策定しました。自社が直接排出するCO<sub>2</sub>排出量の削減、開発から消費・リサイクルにいたるすべてのバリューチェーンのCO<sub>2</sub>排出量の削減に向けた中長期目標を設定し、実現を目指しています。

**定量目標（抜粋）**

- バリューチェーンのCO<sub>2</sub>排出量を2050年までに1990年比で半減
- 国内の製造・物流・オフィスからのCO<sub>2</sub>排出量を2015年までに1990年比で35%削減

#### 国内の製造・物流・オフィスからのCO<sub>2</sub>排出量の推移

年	CO <sub>2</sub> 排出量 (千トン)
1999	1,514
2008	953
2009	881
2010	824
2011	778
2012	715

2012年実績 **53%**削減 (1999年比)  
2015年目標 **35%**削減 (1999年比)

→ 目標を達成したため、2013年に新たな目標を設定予定です。

**課題** 温室効果ガス排出量が既に地球の自然吸収量の2倍となるなか、世界経済の拡大により、一層の増加が予測されます。このため地球の気候が大きく変動するといわれ、資源・エネルギー問題だけでなく、自然生態系、水資源、水災害、農林水産業などのあらゆる環境課題に影響を与える可能性があります。

**リスク** 地球温暖化は、他の重要課題（生物資源、容器包装、水資源）と互いに影響しあうため、キリングgroupが自然の恵みを持続的に利用するために対応すべき重要な課題です。バリューチェーン全体で関係者と協力してCO<sub>2</sub>排出削減に取り組む必要があります。

**機会** 省エネルギーと再生可能エネルギー利用が重要となるなか、キリングgroupの技術活用機会が増えています。省エネルギーの推進はコストの削減にもつながります。

温室効果ガス排出量と自然の吸収量

72億 産業トン (化石燃料起源の人為的排出量)

31億 産業トン (自然吸収量)

地球全体

数値はCO<sub>2</sub>の年間排出（吸収）量 出所：IPCC第4次評価報告書（2007）

## 優秀賞（地球・人間環境フォーラム理事長賞）

### NKSJホールディングス株式会社

### CSRコミュニケーションレポート2013

NKSJグループのCSR「5つの重点課題」にもとづき、自社の事業にとって重要な環境側面が報告されている。また、環境配慮型の商品を通じて、バリューチェーンに波及させていく姿勢とその取り組みがうまく報告されている。

環境以外の面でも、「安心・安全」を提供する商品、仕組みや金融イニシアティブを通じた社会的課題への関わりが報告されており、NKSJの考える金融事業の社会的責任が明確に発信されていると評価した。

ESG情報のデータ拡充も取組の積極性を表している。

### 味の素株式会社

### 「味の素グループ サステナビリティレポート 2013」（フルレポート）

21世紀の人類社会の課題を地球持続性、食資源、健康な生活に分類し、これに即して中期計画を立て、充実した報告をしており環境報告書として優秀である。

国際的に普及しているISO26000の7つの中核主題に基づいて現状把握・課題整理を行っており、閲覧性がとても高い。

本文では、社会的側面の活動が環境保全に関連することを事例に則して上手に表現しており、読者を啓蒙する力をもっている。

CSRマネジメントにあたっては、「味の素グループ理念」実現のために、部門を横断して意見交換を活発に行い、取り組みを推進させるとともにマテリアルを策定しており、やる気を感じる。

### 積水ハウス株式会社

### Sustainability Report 2013

CSR活動の中でも環境に関する活動をマテリアルな活動として報告している。エコファースト制度を利用し、自社の環境活動を幅広く推進している。

地球温暖化対策としても、自社事業の特徴を捉え、「省エネルギー住宅の普及によるマクロ的な環境貢献」として、顧客の居住によって排出されるCO2を削減するための取り組みが積極的に実施されている。

里山の自然を再現する「5本の樹活動」を実施するなど、「顧客の住居の植生を利用した生物多様性への取り組み」を展開し、環境の取り組みを顧客と共に推進していることは評価できる。

### 東京都水道局

### 東京都水道局環境報告書 2013、東京都水道局環境報告書 2013 概要版

### 東京都水道局環境報告書 2013 英語概要版

水道は身近なものであるにもかかわらず、水道事業とその環境負荷については、一般的に、まだまだ知られていない。そのギャップを埋めるため、「概要版」では、まず、環境負荷・マテリアルバランスの全体像を従来よりも詳しく記述している。さらに主要な環境側面の図との関係を、これまで以上にわかりやすく整理し記載している。

また、「詳細版」では、水道事業の概要とともに「東京の水道水源と浄水場別給水区域」を報告書前半にすることで水道事業についてステークホルダーにわかりやすく伝える工夫をしている。

ボランティアとの協働や国際協力についての活動も紹介され、水道局の多岐にわたる活動内容が記載されている。具体的な環境活動の情報が網羅的に記載されており、情報量が多いが、レイアウトが工夫されているため読み易い報告書となっている。

### 株式会社東芝

### 東芝グループ環境レポート 2013

「環境ビジョン 2050」を掲げ、そこからバックキャストしてファクター1.0として定量的に目標を設定している。また当該ビジョン達成のため、2015年にエコ・リーディングカンパニーの地位確立を目指し、4つの環境戦略をうちたてKPIを定量的に設定し実践している。

報告書では、「環境ビジョン 2050」からはじまり、4つの環境戦略にそってトップコミットメントで定量的内容も含め記載すると共に、報告書の構成も4つの環境戦略にそって体系化している。加えて各項目においても体系化され、かつ図で表現され、本業と環境の関連がわかりやすく、全体を通して環境への取り組みが理解しやすかった。その他、サプライチェーン全体のGHG排出量の把握・算定に仕組み、算定結果を上流、自社、下流と分類し、さらに各分類の内訳も示し、各内訳の前期比較、増減理由が開示されている点が高く評価できる。

環境報告書の王者といってもよい作品で、今後も先進的な環境への取り組みとその開示が期待される。

## 株式会社日立製作所 日立グループ サステナビリティレポート 2013 (ダイジェスト・詳細版)

同社のサステナビリティレポートは社会的課題を掘り起こし、課題に対しての各ソリューションはグローバル化を視野に広く活動範囲を広げ独自の考え方で解決して行くスタイルを貫き通している。

CSR もマネジメント状況の詳細は WEB を紹介しているが、ダイジェスト記載内容で十分判る内容になっている。

環境マネジメントについても、日立グループとしての「環境に配慮したモノ作り」では数値データも豊富で大変判り易い。社会活動では各課題に対して、「基本方針」や「ポリシー」を定めて実行に移しており、活動に一貫性があり、トレンドデータも適切な状態を示している。

また、第三者検証も環境と社会分野は別々に実施しておりこれも信頼性の面から大変良い。

## 前田建設工業株式会社 CSR 報告書 2013 「未来をつくる意欲」

建設業としての充実した環境データを提供している。特にエネルギー及び CO2 に関しては情報が充実している。

建設業にとっては極めて重要な課題である生物多様性に関する取組みも充実している。

生物多様性方針を設定し、方針に基づく活動を継続的に実施している。

活動は建設現場ごとに実施されており、体制は環境部門の主導ではなく、事業の軸で取組むようになっている。建設現場ごとに生物多様性との関わりが異なるため、その現場ごとの対応ができるよう管理されている点、事業の一環として取組んでいることが確認できた。

環境情報だけでなく財務情報との関連付けも分かりやすく評価ができる。

## 信頼性報告特別優秀賞 (サステナビリティ情報審査協会会長賞)

### 帝人株式会社 2013 年 帝人グループ CSR 報告書

報告内容の正確性は、第三者審査により担保されているが、その範囲が幅広い。4 名の異なる分野の有識者から意見を聞き、改善を行っているなど、第三者審査以外の信頼性担保の取組みも多彩である

オランダでのステークホルダーダイアログでは、本業に CSR の観点を取り込み、環境効率分析ツールを用いて、バリューチェーン上のステークホルダーと協働する姿勢が読み取れる。

CSR 推進体制が明確で、全社的に CSR を取り組む仕組みが構築できている。また、社会性側面に関わる定量情報の記載があり、経年グラフから取り組み進捗が読み取れる。ステークホルダーとのコミュニケーションを重視する姿勢からは、社会の期待への配慮が伺える。

## 環境配慮促進法特定事業者賞

### 国立大学法人熊本大学 えこあく と 2013 (熊本大学環境報告書)

単調なレイアウトの印象がある特定事業者の環境報告書の中で、非常に読みやすく工夫されたデザインで構成されている報告書である。図やイラスト、写真を効果的に配置し、文字の大きさの強弱は読んでいてポイントが把握しやすい。

エネルギー投入量や温室効果ガス排出量などは、他の国立大学との順位比較を掲載しており、全国での熊本大学のレベルがわかりやすくなっている。

低炭素・循環型・自然共生のそれぞれの章では熊本大学内で進めている教育、研究、地域貢献について簡潔な説明を掲載しており、研究タイトルの羅列の掲載が多い国立大学法人の報告書のなかでも分かりやすい内容となっている。

長年、優秀な報告書としての評価が高い中で取り組みと報告書の工夫が一段と進んでいる。

学内で実施した環境・省エネ活動を「見える化」し活動内容に応じてポイント付与して、その獲得ポイントに応じて、表彰を行ったり物品との交換を行う、MIEU（ミエ・ユ）ポイントというユニークな取り組みは大変興味深く、これらの取り組みを通してさらにスマートキャンパスが推進されることが期待される。

環境配慮の取り組みとしては、平成 26 年 3 月までの目標だけでなく平成 32 年までの長期的視野に立った CO2 排出量の削減目標を掲げており評価できる。

## 奨励賞

### JFEプラリソース株式会社

### CSR・環境報告書 2013

環境活動は ISO14001 に従い管理されており、環境のテーマはある程度網羅的に記載されている。

目標管理の表現にはなっていないものの、実績に関するデータも充実しており、活動内容の説明や写真も充実しており、分かりやすくまとめられている。

写真や記載内容から、地域住民や従業員との関わりを大切にしながら活動されていることが伝わる報告書となっている。

### シャープ株式会社 亀山工場

### シャープ 亀山工場 環境取り組みのご紹介 CSR REPORT 2013

同社のサイトレポートはどれもすぐれたものであるが、中で一点ということではやはり一歩先んじた報告書である。

環境方針を中軸に構成され、また工場周辺の名所や自然を紹介する等の編集の工夫もあり、読みやすく親しみやすいサイトレポートに仕上がっている。

現場の環境負荷低減に関する取り組み事例が大変充実しており、その効果を「一般家庭削減量」や「ドラム缶本数」で例示してわかりやすくアピールしている。そのあとに、地域コミュニケーション・社会貢献活動・生物多様性の取り組みが紹介され、また随所に従業員と社外ステークホルダーのコメントが写真入りで紹介され、コミュニケーション・レポートとしても良くてきている。環境監査に関して更なる内容の充実を期待したい。

### 株式会社リヴァックス

### CSR 報告書 2013

小規模事業者でありながら、内容の構成などがしっかりした報告書になっている。優秀賞に匹敵する作品といってもよい。

事業活動そのものが循環型社会の形成に貢献していることが読み手にわかりやすく説明されており、同社を理解するうえで有用な報告書として構成されている点も優れている。

リサイクル率をはじめとした環境データについては、これまでの実績を時系列でグラフや図表を用いて開示している点も読み手のことをよく考慮していると評価できる。より将来を見据えたビジョンなどの下で同社がどのように取り組み、発展していくのかについても考慮した今後の方向性、戦略などに関する説明をもっと充足されることを期待したい。

### ルネサス山形セミコンダクタ株式会社

### ルネサス山形セミコンダクタ 環境報告書 2013

環境活動は「エコファクトリー」「エコプロダクト」「エココミュニケーション」の 3 本柱であるが、報告書もその 3 本柱から構成されており、様々な読みやすい工夫もなされている。

人事総務部や情報システム部等の管理部門の環境目標も設定され、また山形県地球温暖化防止県民活動に全従業員が参加していることなどから、全員参加の環境活動が実践されていることが理解できる。環境監査は、審査員資格を有する社内専門家が担当し、監査結果の「見える化」も図り、そのレベルは高い。

環境トラブルに関する情報開示も充実しており信頼感を増す。但し一部文字が小さい箇所があり、また一般読者にとってやや専門的な記述もあり、それらの改善が望まれる。

大賞（環境大臣賞）

株式会社北陽商会

環境活動レポート《9号》



エコアクション21 環境経営システム  
環境活動レポート 《9号》

2006年にEA21認証・登録された自動車整備会社であるが、直接的な環境負荷削減への取組のみならず、エコ安全ドライブの冊子配布、エコ整備の地元新聞読者へのプレゼント、マイカー点検教室などの啓蒙活動・社会貢献活動にも力を入れている点が評価できる。

お客様用としてA5というハンドリングしやすいサイズ設定、グラフ、イラストや色使いなどの工夫により、読みやすく、事業者の取組状況が理解しやすいように構成されており、作成者の「ぜひ手にとって読んでほしい」というメッセージが伝わってくる。

代表者による見直しを経て次年度目標を上方修正したり、巻末に、山間部の高齢者の生活を考えたコンバージョンEV（電気自動車）挑戦への意気込みを語ったりするなど、積極的な姿勢が感じられ、コミュニケーション媒体としてのレベルは高い。



縁の広場（祐清とたまがきの像）  
所在地：新見市西万471（新見駅前）

【平成24年度】平成24年5月1日～平成25年4月30日迄

株式会社北陽商会

この紙は古紙100%の再生紙です

- (3) その他の環境配慮活動
- ㉔ 化学物質の適正な保管と使用をします。
  - ㉕ 産業廃棄物の適正な保管と処理をします。
  - ㉖ 交換後の部品などの適正な保管と処理をします。
  - ㉗ 使用済み自動車の適正な保管と処理をします。
  - ㉘ 整備工場周辺の環境保全対策を推進します。
  - ㉙ 秋の交通安全週間でテント村とマイカー点検教室を開催します。
  - ㉚ 環境関連法規等を遵守します。

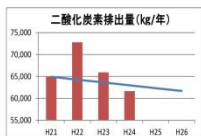
7. 今年度の実績と取組の評価

【1】今年度の実績

- (1) 総エネルギー投入量の主な削減活動  
《6. 環境目標と今年度の取組》《2 今年度の取組》に沿って実績を報告します。

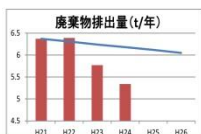
環境負荷項目 / 年度	(基準) 平成21年度	平成24年度目標	平成24年度実績
二酸化炭素排出量 (kg/年) 21年度基準%/達成率	64932	平成21年比より3%削減	62984 kg 61651 kg (達成率 102%)
	100%		
廃棄物排出量 (t/年) 21年度基準%/達成率	6.37	平成21年比より3%削減	6.18 t 5.34 t (達成率 116%)
	100%		
水使用量 (m <sup>3</sup> /年) 21年度基準%/達成率	461	平成21年比より3%削減	447 m <sup>3</sup> 526 m <sup>3</sup> (達成率 85%)
	100%		

※二酸化炭素排出量  
P7の《5. 環境負荷の現状と考察》では購入電力排出係数は0.378g-CO<sub>2</sub>/kWhを使用し、P8の《6. 環境目標と今年度の取組》及びP10《7. 今年度の実績》では、0.496g-CO<sub>2</sub>/kWh(中国電力)を使用していますので数値に誤差があります。  
※■の「折れ線グラフは目標」で、■の「棒グラフは結果」です。



二酸化炭素排出量

■ 総量 [kg/年]  
目標が達成できました。排出量の割合は、自動車の燃料が約58%、電気が約28%、灯油が約14%、LPGは約0.3%でした。



廃棄物排出量

■ 総量 [t/年]  
排出量の割合は紙類が約47%、汚泥が約12%で削減でき、廃タイヤが41%で増加しましたが、目標は達成できました。

③「交通安全テント村」と「マイカー点検教室」の開催

- 日 時：平成24年 9月27日  
○場 所：大佐総合センター

《交通安全テント村》

午前10時から、新見警察署の協力で走行中の自動車を道路脇の空き地に誘導してもらい、一人は運転者に『秋の交通安全週間で、お車の無料点検をさせていただきます。3分で終わりますのでご協力下さい。』と協力依頼をし、自動車の前後に1人ずつ計3人でタイヤやランプ類の点検を行い『大切に乗り続けていても、距離を走れば不具合や燃費の悪化を招きますので、安全とエコにつながる点検と、エコドライブをお願いします。』と「マイカー点検」と「エコドライブ」をお勧めしました。



《マイカー点検教室》

午後1時から3時まで、日常点検のやり方や簡単なトラブル対処法を学んでいただきました。

- 【講習の概要】  
○学科講習（約1時間）  
①自動車の見方と作動  
②日常点検の概要と必要性  
③事故防止対策  
④定期点検整備の概要と必要性



- 実技講習（約1時間）  
①エンジンルームをのぞいての点検  
②クルマのまわりを回っての点検  
③運転席に座っての点検  
④トラブル対処法



## 優秀賞（地球・人間環境フォーラム理事長賞）

### 上島珈琲貿易株式会社

### 上島珈琲貿易株式会社 2013年度環境活動レポート

業態・本業に照らして、目指す姿・目標が具体的かつ適切に設定されている。

比較的小さな組織でもあり、「全員参加型の経営」を目指す中で、環境への取り組みに関しても、できることはすぐ、自分たちで、コストを意識しながら楽しんで進める、という姿勢が従業員全体に広がっていることが力強く伝わってくる。

省エネ・省資源といった取り組みも、様々な創意工夫で楽しみながら実績をあげているほか、本業で目指すべきCSR調達や、店舗でのお客様との協働なども着実に進めている。

レポートは比較コンパクトであるが、適切な情報量が盛り込まれている。キャラクターを用いた親しみやすい紙面づくりがされているほか、他社には見られない環境活動による経費の削減効果もまとめられているなど、全体として、読みやすさ・わかりやすさにも工夫した、秀逸なレポートとなっている。

### 恵比寿産業株式会社

### 環境活動レポート平成24年版「自然と命をつなげよう」

主な環境目標を二酸化炭素排出量/廃棄物受入量、排出廃棄物量/廃棄物受入量、主要リサイクル品である木材チップの生産量としており、産業廃棄物処理業として業務に密着した適切な設定である。

エコアクション21認証以前は木くずを、焼却処分をしていたが、平成19年度から徐々にチップ化を行いバイオマス発電の燃料として活用できるようにしている。

環境目標は平成17年度から平成23年度までグラフ化されており、この間の経年変化も判り易い。平成21年以降はエネルギー投入量、二酸化炭素排出量は下げ止まっているが、木材チップの増産によるものとして分析されている。

視覚に訴えるよう、手描きの似顔絵もあり、色使いとともに親しみ易さも工夫されている。

### 東洋冷蔵株式会社

### 環境レポート 2013

電力がエネルギー使用全体（原油換算）の95%を占めることや、廃棄物では特に食品廃棄物が多いことなど、マテリアルフロ一図において環境負荷の特徴がわかりやすく表示されている。

また、2016年までの中長期目標の達成状況もグラフとイラストで表現するなど、レポート全体に読み易さへの配慮がうかがえることも好感がもてる。

加えて、法規制違反（尾鷲工場における排水基準値超過事故）というネガティブ情報についても、経緯、原因および再発防止策が説明されており、誠実な開示姿勢をうかがうことができる。

目標未達成項目についての原因分析や対応策について、分析結果と対応策を開示・コミットすることが次の改善に向けての推進力となると思われる。

### 廣間組有限会社

### 環境活動レポート ～環境への恩返し～

経営理念を実践していることが読み取れる良い報告書である。公共土木工事を中心とする地方の中小建設者として、環境に配慮した活動を全社一体となり実践していることが環境活動レポートより読み取れる。対象期間の環境目標を全項目達成しているほか、型枠の県産木材の使用、法面工事での環境配慮等の環境配慮提案も積極的に行っている。

建設業では産業廃棄物の処理が課題となるが、木材のチップ化などによりリサイクル率100%を達成している。

環境活動レポートは要領よく整理されており、また環境活動の内容について写真・経年グラフを多用し、わかりやすく記載するとともに、環境法令遵守についても詳細に記載をおこなっている。

### 宮田村役場

### エコアクション21 環境活動レポート2012 宮田村～この美しい自然をいつまでも～

地方自治体としてなすべきことについて深く考察し、環境目標・推進施策等がふさわしく設定されている。

環境基本計画における地域の環境目標と、役所内部（事務事業）の環境目標とはきちんと区分されて明示されており、その区分ごとに施策の実績及び活動実績もわかりやすくまとめられている。

家庭における環境活動推奨制度（みやだエコポイント）、生徒会のエコ大使任命・保育園のエコレンジャー育成活動、地産地消の学校給食、エコファーマーの育成など、住民それぞれと共に取り組む施策の実例も数多く紹介されており、地域と共に、丁寧かつ着実に取り組みを進めていることが伝わってくる。また、各環境目標・取り組みの背景情報となるコラム・トピックが各所に盛り込まれ、それぞれの取り組みの意義を浮かび上がらせている。

全体として、読み物としてわかりやすく、構成もしっかりした優れた報告書となっている。

## 奨励賞

### 有限会社三立

### 2012 年度環境活動レポート

二酸化炭素の削減量をホッキョクグマの頭数に換算したり、水の使用量を浴槽の杯数に換算したりするなど、読者が取組の成果をイメージできるように表現上の工夫が施されている。

また、冷房効率を高めるためにエアコン吹き出し口にカバーを設置するなどのユニークな取り組みも面白い。

他にも、灯油漏えい事故に関する原因分析と対応策等の説明は詳細で良い。さらに、読者が事故の程度をより理解できるよう、灯油の漏洩量等の情報があれば、なお良いと考える。

また、本環境活動レポートは片面印刷で作成されているが、社内では紙使用量削減のために両面印刷を推進していることを考慮すれば、本レポートも両面印刷での作成が望ましいと考えられ、今後の改善が期待される。

### 国立大学法人鳴門教育大学

### エコアクション 2.1 環境活動レポート

2012 年 3 月認証登録した、取り組み始めて間もない法人であるが、附属学校（幼・小・中・特別支援）～大学まで各ステージに合わせた環境教育の取り組みのほか、大学院での環境関連研究の紹介、地域の人を対象とした公開講座等、教育機関としての積極的な取り組み姿勢が随所にうかがわれる。

また、環境目標は、適切に設定されており、サイト別に環境目標と活動結果の達成状況に関する記載が行われている。目標が達成できない場合は分析が実施され、その理由が明記されている。図表を適切に使用して取り組み実績や達成状況、マテリアルバランスなどを明示する等、読みやすくまとめられている。

今後は、さらに学生を主体とした取り組みが期待される。

## 奨励賞（優良取組）

### 株式会社シュガーアンドスパイス

従業員 12 名の小規模な事業者で、事業形態は、モデル広告・タレント事業というやや特殊な業態であるが、環境貢献事業・環境普及事業として先進的な環境コミュニケーション活動を展開し、関係者へのインパクトのある環境意識啓発の取り組みを実施している。

特に子供事業に携わるという本業を踏まえ、次世代以降の子供たちへの環境コミュニケーション、エコメッセージの発信は、本業を生かした環境貢献活動の取り組みとして大変優れたものと評価できる。レポート自体もコンパクトであるが、要点を分かりやすくまとめており、読みやすいものとなっている。

### 西東京市役所

幅広い世代の市民への環境問題に関する意識啓発・取り組み推進のため、小中学校でのエコ・クッキング講座や、リサイクル体験ができる環境学習講座、参加者多数の環境フェスティバル等の環境イベント等を広く企画・開催している点が評価できる。

併せて、公共施設への太陽光発電システムの導入のほか、省エネ・省資源に関する地道な環境配慮行動で着実に成果をあげており、今後も継続が期待される。

市が展開している地域環境施策の実施結果を取りまとめた環境白書と、市役所の事務事業活動としての活動レポートが統合されて、まとめられている点でも、自治体の E A 2.1 活動の在り方として有力な方向性を示している。

### プラマック株式会社

同社は、自動車の修理交換時に発生する廃棄バンパー（プラスチック）を自動車部品にリサイクルする取り組みを行っている。顧客からの要求水準が高まり続ける中、「モノの命を全うせよ」という基本理念に基づき、コストと品質の両面での課題を克服し続けてきた 20 年の歴史には重みがある。

2011 年には材料再生メーカーの協力のもとで廃バンパーの塗膜剥離に成功している。これにより外観品質や耐衝撃性が高められたリサイクル材は、現在では材料使用量全体の半分を超えるほどに活用されている。

「リサイクル材使用率 100%」によるモノづくりを視野に、今後も創意工夫を継続していくことが期待される。



### 大賞（環境大臣賞）

ソニー株式会社

「Water Rock」編

美しい水の映像を、水滴の音で作られた BGM のリズムに乗せて、短いカットで軽快に見せていく。映像と音がシンクロする心地よさが、これは何の CM だろう？と、見ている人を引き込んでいく。やがて、スマートフォンなどに使われているソニーのイメージセンサーは日本の美しい水から生まれたこと、さらに、ソニーはその貴重な地下水を守るための活動を行っていることが静かに語られる。

この CM では、イメージセンサーを製造するのにどのくらいの地下水が必要なかまでは語られないが、〈水のサステナビリティ〉について気づかされる美しい CM である。

### 優秀賞（地球・人間環境フォーラム理事長賞）

サントリーホールディングス株式会社

サントリー「天然水の森プロジェクト」（土づくり）編

大賞のソニーと同じく〈水のサステナビリティ〉に取り組んでいることを、最先端の CG 技術を採用入れて表現している。サントリーの天然水は、川の水ではなく森が作る地下水であることを、森の住人であるリスに語らせることによって、CM のエンターテインメント性を高めると同時に、企業への親しみをアップさせることにも成功しているようだ。「水と生きる」サントリーにとって、おいしい水を守ることは当然のこととも言えそうだが、実際に森を守る作業をしている人たちにとって、この CM は大いに励みになるのではないだろうか。

株式会社滋賀銀行

「ニゴロブナ・ワタカ放流」編

地域の多くが過疎高齢化した中で、地域の復興について銀行はいかに寄与できるかという課題を具体的に解決する CM である。環境問題と地域問題を結合させるため滋賀銀行ならではの琵琶湖をテーマにして、外来魚に押されて絶滅危惧種になったワタカを、地域の子どもたちがわいわいと放流する。

そのことが地域再生に大いに寄与することは誰にも分かるだろう。限られた広告予算の中で、より多くの広告効果を上げた優れた CM である。

野村ホールディングス株式会社

「ハッピーマネーサイクル 野村×トマト」編

金融機関が環境 CM を作ろうとする時、環境に良い製品や、再生可能エネルギー関係の会社、企業に金を貸し、そのことを広告するというのが、いわば「普通の方法」だろう。

対して野村ホールディングスのこの CM では、地域再生の重要なテーマであり、またじわじわと迫り来る食糧危機の時代の基本的対策でもある農業振興をテーマに選び、具体的なトマト生産組合に融資をして、それを野村ホールディングスの大方針（いまは小さく始めて、の段階だろうが）とすることは、金融機関の環境 CM として、今後広まってゆくと考えられる。先進的な環境 CM と言える。

## 5.一次選考通過作品

### 環境報告書部門

NK S Jホールディングス株式会社	CSRコミュニケーションレポート2013
味の素株式会社	「味の素グループ サステナビリティレポート2013」(フルレポート)
イオン株式会社	「イオン環境・社会報告書2013」(web/pdf版) 「イオンの環境・社会への取り組み2013」(冊子版)
キヤノン株式会社	Canon Sustainability Report 2013
キリンホールディングス株式会社	キリングroup環境報告書2013
株式会社クボタ	KUBOTA REPORT 2013-事業・CSR 報告書
コニカミノルタ株式会社	「コニカミノルタCSRレポート2013」「コニカミノルタ環境報告書2013」
株式会社滋賀銀行	CSRレポート2013 歩みを、共に。
清水建設株式会社	2013 シミズCSR報告書 第19号
住友電気工業株式会社	「SEI CSR報告書2013」
積水化学工業株式会社	CSRレポート2013
積水ハウス株式会社	Sustainability Report 2013
太平洋セメント株式会社	CSRレポート2013
帝人株式会社	2013年 帝人グループ CSR 報告書
東京都水道局	東京都水道局環境報告書2013、東京都水道局環境報告書2013 概要版、 東京都水道局環境報告書2013 英語概要版
株式会社東芝	東芝グループ環境レポート2013
東レ株式会社	「東レグループ CSRレポート2013」
日本製紙株式会社	日本製紙グループCSR報告書2013 ハイライト版
日本郵船株式会社	NYK レポート2013
パナソニック株式会社	サステナビリティレポート2013
東日本電信電話株式会社	NTT東日本グループCSR報告書2013
東日本旅客鉄道株式会社	JR東日本グループCSRレポート2013
株式会社日立製作所	日立グループ サステナビリティレポート2013 (ダイジェスト・詳細版)
ヒューリック株式会社	CSRレポート2013
富士通株式会社	富士通グループ社会・環境報告書2013
株式会社ベネッセホールディングス	Benesse ONE Report 2013
本田技研工業株式会社	(本編) 「Honda環境年次レポート2013」 (ダイジェスト) 「Honda e-PRESS」

前田建設工業株式会社	CSR 報告書 2013 「未来をつくる意欲」
リコーグループ	リコーグループサステナビリティレポート2013
<b>奨励賞</b>	
JFEブラリソース株式会社	CSR・環境報告書2013
シャープ株式会社亀山工場	シャープ亀山工場 環境取り組みのご紹介 CSR REPORT 2013
株式会社リヴァックス	CSR 報告書 2013
ルネサス山形セミコンダクタ株式会社	ルネサス山形セミコンダクタ 環境報告書2013
<b>環境配慮促進法特定事業者賞</b>	
国立大学法人熊本大学	エコあくと2013（熊本大学環境報告書）
独立行政法人産業技術総合研究所	産総研レポート2013 社会・環境報告
国立大学法人千葉大学	千葉大学環境報告書2013
国立大学法人三重大学	世界一の「環境先進大学」の社会的責任（USR）を果たすために 三重大学環境報告書2013

## 環境活動レポート部門

上島珈琲貿易株式会社	上島珈琲貿易株式会社 2013年度環境活動レポート
恵比寿産業株式会社	環境活動レポート平成24年版「自然と命をつなげよう」
光洋電器工業株式会社	環境活動レポート 2012年度
高島屋スペースクリエイティブ株式会社	環境活動レポート 2013
東洋冷蔵株式会社	環境レポート 2013
廣間組有限会社	環境活動レポート ～環境への恩返し～
株式会社北陽商会	環境活動レポート《9号》
宮田村役場	エコアクション21 環境活動レポート2012 宮田村 ～この美しい自然をいつまでも～
<b>奨励賞</b>	
有限会社三立	2012年度環境活動レポート
国立大学法人鳴門教育大学	エコアクション21 環境活動レポート
<b>奨励賞（環境配慮の優良取組）</b>	
株式会社シュガーアンドスパイス	
西東京市役所	
ブラマック株式会社	

## 6.審査委員

(審査委員長除く 50 音順, 敬称略)

### 環境報告書部門・環境活動レポート部門 審査委員

---

審査委員長	山本 良一	東京大学名誉教授、東京都市大学特任教授
	大熊 一寛	環境省 総合環境政策局 環境経済課長
	上妻 義直	上智大学 経済学部 教授
	後藤 敏彦	環境監査研究会 代表幹事
	佐藤 泉	佐藤泉法律事務所 弁護士
	寺田 良二	一般社団法人サステナビリティ情報審査協会 副会長
	藤村 コノエ	認定 NPO 法人 環境文明 21 共同代表
	森下 研	一般財団法人持続性推進機構 専務理事
	八木 裕之	横浜国立大学 国際社会科学研究院 教授
	和貝 享介	日本公認会計士協会 常務理事

### テレビ環境 CM 部門 審査委員

---

審査委員長	山本 良一	東京大学名誉教授、東京都市大学特任教授
	大熊一寛	環境省総合環境政策局 環境経済課長
	佐野寛	日本デザイン機構理事/有限会社スタジオ・エス代表取締役社長
	高岡美佳	立教大学 経営学部 教授
	中原秀樹	東京都市大学 環境情報学部 教授/グリーン購入ネットワーク名誉会長
	安川良介	環境カウンセラー

## 環境報告書部門 ワーキンググループ委員

---

猪刈 正利	株式会社インターリスク総研 コンサルティング第一部環境グループ シニアマネージャー・上席コンサルタント
岩佐 允勝	グリーン企画社 代表
春日 秀文	春日法律事務所 弁護士
川原 千明	EY 新日本サステナビリティ株式会社
川村 雅彦	株式会社ニッセイ基礎研究所 保険・年金研究部門 上席研究員
阪野 朋子	NPO 法人サステナビリティ日本フォーラム 事務局
坂本 茂實	坂本技術士事務所 代表
品部 友美	KPMG あずさサステナビリティ株式会社
田原 英俊	あらた監査法人 サステナビリティ・サービス マネージャー
塚本 奈穂子	有限責任監査法人トーマツエンタープライズリスクサービス
土橋 浩次	環境省 総合環境政策局 環境経済課 環境専門調査員
鶴田 佳史	大東文化大学 環境創造学部 准教授
中山 育美	一般財団法人日本環境衛生センター 環境工学部調査課
根村 玲子	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会 環境委員会
早川 直孝	一般財団法人地球・人間環境フォーラム 企画調査部 調査主任
三樹 尚子	ミキオフィス 代表
葎嶋 真理	オフィスむぐらじま S R I アナリスト
村上 智美	みずほ情報総研株式会社 環境エネルギー第2部 シニアコンサルタント

---

## 環境活動レポート部門 ワーキンググループ委員

---

上田 充宏	KPMG あずさサステナビリティ株式会社、エコアクション2.1 審査人
黒柳 要次	株式会社パデセア 代表取締役、エコアクション2.1 参与 ・ 審査人認定委員 ・ 審査人
佐野 由利子	味の素株式会社 環境・安全部 兼 CSR 部 主任
田中 充	法政大学 社会学部 教授、エコアクション2.1 参与 ・ 運営委員 ・ 判定委員
西原 弘	有限会社サステイナブル・デザイン研究所 取締役社長、エコアクション2.1 審査人
森下 研	一般財団法人 持続性推進機構 専務理事、エコアクション2.1 中央事務局 事務局長

---

## 7.応募団体一覧

### 環境報告書部門

J F E プラリソース(株)	川崎汽船(株)
KDDI(株)	キヤノン(株)
N E C アクセステクニカ(株)	九州電力(株)
N K S J ホールディングス(株)	京都生活協同組合
N T T グループ (日本電信電話(株))	国立大学法人京都大学
NTT コミュニケーションズ(株)	(株)極洋
(株)NTT データ	キリンホールディングス(株)
SG ホールディングス(株)	(株)クボタ
TOTO(株)	国立大学法人熊本大学
アースサポート(株)	国立大学法人群馬大学
旭硝子(株)	京王電鉄(株)
(株)朝日ラバー	大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構
味の素(株)	(株)神戸製鋼所
荒川化学工業(株)	コープみらい、コープネット事業連合 (共同制作)
アンリツ(株)	国際石油開発帝石(株)
飯野海運(株)	コクヨ(株)
イオン(株)	コニカミノルタ
池田印刷(株)	(株)小松製作所
出光興産(株)	埼玉日本電気(株)
(株)伊藤園	サラヤ(株)
伊藤忠商事(株)	(独) 産業技術総合研究所
いわて生活協同組合	サントリーホールディングス(株)
国立大学法人岩手大学	三洋化成工業(株)
(独) 宇宙航空研究開発機構	国立大学法人滋賀医科大学
エーザイ(株)	(株)滋賀銀行
エス・エヌ・ケー・テクノ(株)	国立大学法人静岡大学
国立大学法人愛媛大学	(株)島津製作所
大阪いずみ市民生活協同組合	清水建設(株)
鹿島建設(株)	シャープ(株)
(株)カスミ	シャープ(株)葛城事業所
(株)学研ホールディングス	シャープ(株)亀山工場
加藤産業(株)	シャープ(株)三重工場
カルソニックカンセイ(株)	シャープ(株)総合開発センター

シャープ(株)電子デバイス事業本部福山事業所	東京都水道局
シャープ(株)奈良事業所	(株)東芝セミコンダクター & ストレージ社大分工場
ジャパンビバレッジグループ	(株)東芝セミコンダクター & ストレージ社
(株)商船三井	東邦ガス(株)
新日鐵住金(株)	国立大学法人東北大学
住友化学(株)	東北電力(株)
住友金属鉱山(株)	東洋インキ SC ホールディングス(株)
住友商事(株)	東洋製罐(株)
住友電気工業(株)	東レ(株)
セイコーインスツル(株)	(株)トーヨー
セガサミーホールディングス(株)	凸版印刷(株)
積水化学工業(株)	豊田ケミカルエンジニアリング
積水化成成品工業(株)	国立大学法人名古屋大学
積水ハウス(株)	南海電気鉄道(株)
セコム(株)	西日本旅客鉄道(株) (JR西日本)
(株)セブン & アイ・ホールディングス	(独) 日本原子力研究開発機構
大栄環境グループ	日本合成化学工業(株)
ダイキン工業(株)	日本コカ・コーラ(株)
大成建設(株)	日本信号(株)
大日本印刷(株)	日本製紙(株)
太平洋セメント(株)	日本通運(株)
太陽生命保険(株)	日本電産(株)
大和ハウス工業(株)	日本特殊陶業(株)
武田薬品工業(株)	日本ハム(株)
(株)竹中工務店	日本山村硝子(株)
田辺三菱製薬(株)	日本郵船(株)
(株)タムロン	(独) 農業環境技術研究所
国立大学法人千葉大学	パイオニア(株)
(株)ツムラ	パナソニック(株)
帝人(株)	パナホーム(株)
(独) 鉄道建設・運輸施設整備支援機構	(株)バンダイナムコホールディングス
東海ゴム工業(株)	(株)東日本環境アクセス
(株)東海理化 (商号(株)東海理化電機製作所)	東日本電信電話(株)
東京エレクトロン(株)	東日本旅客鉄道(株)
東京応化工業(株)	(株)日立製作所
東京海上ホールディングス(株)	ヒューリック(株)
東京急行電鉄(株)	(株)ファンケル

国立大学法人福井大学	三菱自動車工業(株)
富士重工業(株)	三菱重工業(株)
(株)フジタ	三菱樹脂(株)長浜工場/浅井工場
富士通(株)	三菱樹脂(株)平塚工場
富士電機(株)	村田機械(株)
富士フイルム(株)神奈川工場	(株)村山興業
富士フイルムホールディングス(株)	森永乳業(株)
芙蓉総合リース(株)	(株)ヤクルト本社
ブラザー工業(株)	国立大学法人横浜国立大学
(株)ブリヂストン	横浜ゴム(株)
プリマハム(株)	ライオン(株)
平和紙業(株)	(株)リヴァックス
(株)ベネッセホールディングス	リコーグループ
本田技研工業(株)	リコーリース(株)
前田建設工業(株)	理想科学工業(株)
マツダ(株)	(株)リリーフ
(株)マンダム	ルネサス山形セミコンダクタ(株)
国立大学法人三重大学	レンゴー(株)
ミサワホーム(株)	住友林業(株)
(独)水資源機構	(株)東芝
(株)三菱 UFJ フィナンシャル・グループ	矢崎総業(株)



## 環境活動レポート部門

(株)G E	静清信用金庫
J F E プラリソース(株)	第一建設 (株)
(株)KDP	大金興業(株)
MHI プラントエンジニアリング(株)	高島屋スペースクリエイツ
アサヒエンジニアリング	田村技研工業(株)
(有)庵地衛生センター	中国労働金庫
伊藤鉄工(株)	東洋冷蔵(株)
今井鉄工所	トヨタカローラ名古屋(株)
今住鉄工	国立大学法人鳴門教育大学
(株) 岩井化成	西東京市役所
上島珈琲貿易(株)	日経マシナリー(株)
(株)エステック	日研総業(株)
恵比寿産業	日本化学機械製造(株)
大鐘測量設計(株)	(株)仁張工作所
大阪狭山市	広島管財(株)
鹿島共同再資源化センター(株)	廣間組(有)
柏崎市	ブラマック(株)
九州高圧コンクリート工業(株)	(株)北陽商会
九州林産(株)	北光金属(株) 岩代工場
(一財) 熊本市駐車場公社	(株)丸山工務店
(株) 敬聖工業	マロニー(株)
(株) 神戸マツダ	(株)三橋商会
光洋電器工業(株)	南日本興業(株)
学校法人 郡山開成学園	宮田村役場
コバヤシ精密工業	明京電機(株)
(有)坂井商店	ユーレックス
(株) 坂口製作所 和歌山工場	陽光社印刷(株)
山興緑化	来ハトメ工業(株)
山陽建設(株)	(有)ライフサポートエージェンシー
(有)三立	(株)ライブ商事/オートライブ・シナダ
しずおか信用金庫	
シュガーアンドスパイス	
(株) 常磐植物化学研究所	
新日本カレンダー(株)三田工場	
(株) 生晃	

## テレビ環境 CM 部門

イオン(株)	野村ホールディングス(株)
大阪ガス(株)	富士通(株)
サントリーホールディングス(株)	(株)ブリヂストン
(株)滋賀銀行	(株)堀場製作所
ソニー(株)	横浜ゴム(株)
(株)東芝	

